



学校報
第29号

にこにこ きらきら ゆめにむかって

おともがわ

令和6年度
大仙市立内小友小学校
令和6年11月22日

この学校報は、内小友小学校の保護者の皆様に配付しております。

祝150周年 あいがとう内小友小学校

これからも「にこにこ きらきら ゆめにむかって」

11月16日(土)、本校創立150周年記念式典が挙行され、大仙市副市長 佐藤芳彦様、大仙市教育委員会教育長 伊藤雅己様、大仙市議会議員 橋村誠様をはじめ、多数のご来賓の皆様と児童、保護者及び地域の皆様で創立150周年を祝うことができました。本校器楽部の記念演奏からスタートし、校長式辞、実行委員長挨拶、来賓祝辞のあと、6年生による「児童喜びの言葉」が披露されました。その後、寄贈品(校旗・ワイアレススピーカー2台)が披露され、最後に全員で校歌を斉唱しました。なお、寄贈されたワイアレススピーカーは、式典当日に使用させていただきました。



実行委員長挨拶

記念式典終了後には、大曲高校書道部による書道パフォーマンスが行われました。6年生の考えたキーワードがちりばめられた詩が描かれ、そこに全校児童の思いが書かれたメッセージカードが貼られ、素晴らしい作品が完成しました。なお、完成した作品は体育館ステージの壁面に掲示しますので、PTAで学校に足を運んだ際には、是非ともご覧ください。

最後に、記念花火が打ち上げられ、大歓声の中150周年記念事業が幕を閉じました。

保護者の皆様から、これまでたくさんのご協力をいただき、改めて感謝申し上げます。150周年記念式典は終わりましたが、内小友小学校の歴史はまだまだ続きます。今後とも、本校の教育活動に対して、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



式典に花を添えた器楽部演奏



校歌斉唱



児童喜びの言葉



校旗の寄贈



書道パフォーマンス完成作品



屋花火の鑑賞

※まだまだ紹介しきれない写真も数多くあります。令和7年2月に発行予定の「学校報 特別号」で紹介する予定となっております。

150周年記念式典 校長式辞

(前略)

今日は、大仙市副市長 佐藤芳彦 様、大仙市教育委員会教育長 伊藤雅己 様、市議会議員 橋村誠 様をはじめ、多数のご来賓みなさま、そして保護者及び地域の皆様にご臨席を賜り、大仙市立内小友小学校創立150周年記念式典を開催できますことに、衷心より感謝申し上げます。

また、本式典の開催に向けて、様々な面でご尽力を頂きました実行委員長 佐藤英明 様をはじめ実行委員会の皆様、そしてPTA会員の皆様、誠にありがとうございました。

さて、まず初めに、これまでの150年間にわたり、本校を支えてくださった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

内小友小学校は、地域の皆様の温かいご支援とご協力を賜りながら、「にこにこ きらきら ゆめに向かって」の学校教育目標のもと、充実した教育活動を行って参りました。

大曲支援学校との交流活動、通称「ハローの会」、図書ボランティア「ぼけっと」さんによる読み聞かせや図書館環境整備、保護者・地域と一緒にスポーツを楽しむ「内小友地区体力作り交流大運動会」など、内小の子どもたちは、他を思いやる心や他を尊重する心、そして地域の方々から温かく見守られながら明るく、ひとつひとつ純粋な心をもちあわせながら、毎日すくすくと成長しております。

「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道である」「大きな夢の実現も、小さなことの積み重ね」この2つの言葉は、元プロ野球選手イチローさんの言葉です。どんな小さな一歩でも、それが積み重なることで大きな成果を生み出します。このことは、まさに本校の150年という歴史が証明してくれているものではないでしょうか。本校の子どもたちには、この150年の歴史を受け継ぎ、まずは今の目の前の課題に真摯に向き合い、一つ一つを丁寧に取り組んでほしいと思います。そして、クラスメイトや先輩はもちろん、様々な人との関わりやつながりを大切にして、大きく成長してほしいと願っております。

今日から新しい歴史がはじまります。本校200周年の時には、今、この校舎で学んでいる子どもたちが実行委員となり祝うこととなるでしょう。内小友の未来を担う子どもたちには、これからも夢と希望をもちつづけ、自分の可能性を信じて挑戦し続けてほしいと願っています。その根幹となるもの・・・それは、まちがいなく「内小友愛」です。私たち教職員一同、よりよい教育活動を充実させ、地域とともにある学校、そして、地域から愛される学校を目指し、「内小友愛」を大きく育ててまいります。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動に対して、引き続きご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願ひ致します。

(右に続く→)

150周年記念式典 児童喜びの言葉

(〇〇〇〇さん)

内小友小学校が生まれて150年。記念の日を迎えることができ、わたしたちは喜びで胸がいっぱいです。

(〇〇〇〇さん)

内小友小学校は、地域の方にも愛される自慢の学校です。わたしたちは、「にこにこ きらきら ゆめに向かって」という学校目標に向かって、毎日、元氣いっぱい頑張っています。

(〇〇〇〇さん)

内小には、西地区の学校との交流活動や地域ボランティアの方々に協力していただく活動、全校でふれ合う活動がたくさんあります。

(〇〇 〇さん)

大曲西中生と地域の方と一緒に取り組んでいる「あさがお運動」。元氣なあいさつが響き渡る、素晴らしい学校です。

(〇〇〇〇さん)

大川西根小学校の五年生と合同で行う自然体験学習。豊かな自然の中で、友達との絆を深めることができます。

(〇〇〇〇さん)

大曲支援学校と交流する「ハローの会」は、やさしい心と思いやりの輪が広がる温かな会です。

(〇〇〇〇さん)

秋には、地区民大運動会が行われます。おうちの方や地域の方と一緒に汗を流し、つながりを深めることができます。

(〇〇〇〇さん)

図書ボランティア「ぼけっとさん」による図書室の環境整備や読み聞かせ。すてきな本とたくさん出会うことができ、みんなの心がどんどん豊かになっています。

(〇〇〇〇〇さん)

すこやかグループによる縦割り活動。毎日の縦割り掃除では、一年生から六年生まで、みんなで協力して、学校をきれいにしています。

(〇〇〇〇さん)

すこやか遊びや花いっぱい運動、なべっこなどの行事も、抜群のチームワークで、楽しむことができました。

(〇〇〇〇さん)

わたしたちは、みんながきらきら輝く、この内小友小学校が大好きです。

(〇〇〇〇さん)

これからも、伝統ある内小をよりよい学校にしていくために、地域みなさんと手を取り合いながら、精一杯頑張ります。

結びに、創立200周年の時、ここにいる内小っ子全員が幸せな人生を歩み続けていることを願い、本式典にご臨席くださいました、代34代校長 〇〇〇 様、代35代校長 〇〇〇 様、第36代校長 〇〇〇様他、歴代校長の思いを重ね合わせ、第37代大仙市立内小友小学校長としての挨拶とします。

令和6年11月16日